

選挙

## 総選挙で、国会と政治かえよう 岸田政権と「自、公、維、国」に審判を

「比例は共産党」 広げに広げ、平和、暮らしを守る「希望がもてる政治」を



(写真=声援にこたえる(左から)梅村さえこ元衆院議員、塩川鉄也衆院議員、松村としおさいたま市議団長、埼玉県大宮駅東口)

岸田政権は、5年間に43兆円もつぎ込み、史上空前の大軍拡につき進もうとしています。

日本が攻撃を受けていないのに、アメリカの戦略にしたがい、相手国領土を攻撃するなど、憲法9条のもとで許されるはずがありません。

また、大軍拡は、大增税と暮らしの予算削減、インフレリスク増大など、まさに「亡国の道」です、ただちに撤回すべきです。

いま、国民の暮らしは物価高騰で悲鳴をあげているのに、岸田内閣の経済無策で、実質賃金は13ヶ月間連続でマイナスです。100をこえる国が行っている消費税減税を

見送り、10月からインボイス制度を押しつけるなど、余りにもひどすぎます。「暮らしと生業(なりわい)をこわす税制」など絶対に許せません。

マイナ保険証のトラブルが頻発しているのに、来年秋に保険証を廃止する法律を強行。人権無視の「入管法改悪」、福島第1原発事故の教訓を投げ捨て原発回帰を推進する岸田政権と「自民」、「公明」、「維新」、「国民」の「悪政連合」に厳しい審判を下しましょう。

解散・総選挙で、共産党躍進をかちとりましょう。

力をあわせ、平和、暮らしを守る「希望がもてる」新しい政治を切り開きましょう。

国会

## 共産党=本気の「子育て支援策」提言 大学、短大、専門学校の教育無償化へ

大軍拡をストップ、大企業の下げすぎた法人税を元にもどし、富裕層に応分の負担を求めることなどで暮らし応援のために19兆円の財源政策を提案。その一部で学費半減、入学金廃止、給付奨学金の財源にあて、奨学金返済の軽減を実現します。

### 大学、短大、専門学校の 「学費無償化」をめざし

1. 学費半額、入学金ゼロ
2. 75万人の給付型奨学金
3. ただちに奨学金返済を半額カット



政策全文はこちら



政策発表する田村智子政策委員長(左)と吉良よしこ青年学生委員会責任者=5日、国会内

国会

## 取手市、大雨被害 農水、国交、自治体で

衆議院議員 塩川鉄也



塩川鉄也議員

14日衆院農林水産委、2日の大雨による取手市双葉地区の浸水被害について質問しました。

塩川氏は、農水省担当者の「農水省として民家の浸水被害防止のために補助するのは困難だ」との答弁に「双葉地区1100戸のうち436戸が床上浸水」

「地域住民の理解が得られない」「国土交通省や自治体と連携して対策を講じることが必要ではないか」と要望。

野村哲郎農水相は「被害に関する調査結果を踏まえ、県・市から相談があれば国交省と連携して対応したい」と答えました。

塩川氏は、取手市から県への要望にある「国直轄の排水機場の新設」への対策も求めました。

国会

## たたかいを大きく もっとみなさんと力を

参議院議員 いわぶち友



岩淵友議員

国民の声を聞かない、間違いがあっても認めない、いったん立ち止まることができない—こんな岸田政権の姿があらわになった国会。

軍拡財源確保法、入管法、健康保険証を廃止するマイナンバー法、差別を助長するLGBT理解増進法、

そして原発推進法など、問題が噴き出すなかで悪法が強行されていきました。

日本共産党国会議員団は、こんな政治でいいのかと、国会の周りや全国であがり続ける声を力に徹底した論戦を行いました。

これが政治を変える力だと実感しています。

このたたかいをさらに大きく。みなさんともっと力を合わせたい。

時事

## 埼玉県越谷市 被災者要望を行政へ



被災者の話を聞く(右から)伊藤、城下埼玉県議、梅村候補、塩川議員、工藤市議ら(4日越谷市)

時事

## 取手市 茨城大雨被害を調査



被害状況を調査する(左から)梅村、塩川、岩淵、遠山市議ら(9日取手市)

## 北関東ブロック 2議席奪還へ

候補者発表

5月29日、日本共産党は次期衆院選に向けて、比例代表北関東ブロック(定数19)の候補者2名を発表しました。



梅村さえこ(58)

衆議院議員1期  
党中央委員・子どもの権利  
委員会責任者



塩川鉄也(61)

衆議院議員8期  
党国会対策委員長代理  
党幹部会委員



比例代表は  
日本共産党  
共産党と書いて  
投票します  
投票箱  
または  
制度解説。